

# 平成29年度 学校自己評価システムシート (武南高等学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	国公立大学等進学実績の向上と豊かな人間性の確立を目標の柱とし、生徒の能力を顕在化させるべく教職員一人一人が濃密かつ活気ある授業の創造に全力で取り組み、21世紀の社会に貢献できる創造力と自主自立の精神に満ちた人間を育成する
重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 学力の向上と進学実績の更なる飛躍 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者 4名
----------

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標				年度評価 (3月16日現在)			実施日 平成30年3月20日	
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業の充実・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の興味関心を引き出し、伸ばす授業を進める</li> <li>受験を意識した授業改善を進め、センター試験とともに2次対策を行う</li> <li>模試問題分析を各教科で行い、授業に反映させる</li> <li>授業時間を確保し、圧倒的基礎力を充実する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察シートを用いた授業評価、教員間の授業参観・評価</li> <li>創造力育成の観点で授業改善</li> <li>土曜学力向上講座、授業力向上研修(予備校等派遣)を進める</li> <li>模試事前指導を各教科で行い、生徒に自信をつけさせる</li> <li>毎日の予習・復習の奨励と小さな時間を積み上げる指導を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察シートを用いた管理職との意見交換(6,10月)</li> <li>創造力育成の観点からの取り組みが増えたか</li> <li>センター5教科7科目受験者100名以上</li> <li>模試偏差値を活用し学力向上を図り、指標とする</li> <li>毎日行う小テストをすべての生徒がクリアする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察は、常勤、非常勤年1回の実施であった。</li> <li>授業改善で、創造力育成への取組もみられる。</li> <li>センター5教科受験者数も国公立出願も目標に届かなかった。</li> <li>模試の活用は定着しつつある。平均も向上している。</li> <li>教師はよく努力しているが、さらに効果的実施を工夫する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットによる録画を授業観察に取り入れ改善を図る。</li> <li>ICT活用を推進し学力の三要素をバランス良く育成する。</li> <li>科目を早期に絞り込まず最後まで諦めさせない指導を徹底していく。</li> <li>模試やセンター試験と授業との関連を意識させる指導計画</li> <li>効果的・計画的に小テストを作成し達成感を感じさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年の大学等合格状況と比較してみると難しい大学への合格者数が多くなっているように思う。地道な努力の成果かと感じる。</li> <li>センター問題を分析し、模試等を含め授業との関連を強化し効果的な対策を施す。</li> <li>教員の授業力向上のため外部のプレゼンの講師を招いてはどうか。タブレットによる授業観察など新たな取組に期待する。</li> <li>一教員としてモチベーションを上げるよう資質向上と指導力アップに期待する。</li> </ul>
2	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクール、授業公開を充実して学校を開く</li> <li>学校の教育活動を中学に広報する</li> <li>入試説明会、個別相談会の改善充実</li> <li>蔵東中学校との交流授業を進める</li> <li>広報媒体を活用して正確迅速な情報発信を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動を改善して中学生保護者の参加者増を図る</li> <li>武南の教育活動、卒業生の進路を各中学校に伝える</li> <li>H30年度入試基準の改善</li> <li>「高校の授業を体験してみよう」7月、5教科で実施</li> <li>学校の教育活動を印刷物、HP等で積極的に発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年参加者数を上回る</li> <li>川口、蔵、戸田等地元中学に加え入学者の多い中学への効果的な訪問実施</li> <li>受験者増に努め、単願定員180名を確保する</li> <li>効果的な交流授業の実施</li> <li>武南中学高校新聞の発行HPをリアルタイムで更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会等への参加者数は微増した。</li> <li>昨年同様、川口、蔵、戸田、さいたま市、の中学校訪問を実施した。</li> <li>受験者数は微増であったが単願は目標を達成した。</li> <li>HPの更新は効果的に実施できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校の広報活動と武南中学の広報活動の連携協力を推進していく。</li> <li>引き続き中学校訪問により武南高校への信頼を高めていく。</li> <li>武南の魅力を効果的に発信し第一志望での入学者を増やす。</li> <li>HPの更新をより効果的に行っていく。</li> <li>中高一貫部と連携した広報活動の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣で新校開校など、学校からの情報発信の必要性が高まっていく。いかに学校の良さをアピールしていくか。</li> <li>新入生父兄に入学させた意向や、新入生の(現時点に於ける)将来についての「アンケート」を取り、指導に活用する。</li> <li>武南のウェブサイトは見やすい。継続更新を。</li> <li>広報活動の成果が入学志願者数の増加につながったことは評価。</li> <li>中学校との連携で中高ともに結果を入試説明会等に、ダンス部や吹奏楽部等の歓迎演奏を取り入れては如何。</li> </ul>
3	学力の向上と進学実績の更なる飛躍	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習時間の確保に学校を挙げて取組み、学力向上を進める</li> <li>管理職、学年、進路指導部の連携を進め、第一志望の大学に合格できる指導体制を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で指導法を工夫して早朝学習を進める</li> <li>長期休業中の進路補講を改善する(時間調整、シラス活用)</li> <li>志を高める講演会、見学会</li> <li>進路、出願先検討会の充実</li> <li>進路対策を整理し指導に資する資料を提供する</li> <li>先進校視察を行い全国の進んだ取組を導入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で早朝学習の参加者を増やす</li> <li>開講数を増やすとともに受講者は必ず出席させる</li> <li>3年は3回、1,2年は各1回</li> <li>進んだ取組を研修会で取り上げる</li> <li>国公立40、早慶上理30、GMARCH100を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝自習課題・鍵開けなど学年で取り組んでいる。自習室の活用も定着してきた。</li> <li>シラバスの充実、部活動との調整を図り、効果的な実施を進めていく必要がある。</li> <li>進路検討会を予定どおり実施し、効果も実感できる。</li> <li>目標値には届かないが、早慶上理、GMARCHは昨年以上</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の充実やルールの徹底で朝の時間の有効活用をさらに推進していく。</li> <li>年間計画とシラバスの充実を図り、受講者、指導者がともに充実感のある講座としていく。</li> <li>進路検討会をはじめとする進路指導にICTの活用を進めていく。</li> <li>第一志望実現に向け最後まであきらめない指導を徹底していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の「得意」を指導しより自信をつけさせ「ガンバリ」の方向へ。</li> <li>担任、副担任の業務内容を整理し、ある程度業務分担してはどうか。</li> <li>早朝学習の充実を図る。進路検討会の充実には、GMARCH100を目指すための具体的な分析を個人との面談でいかにするか。</li> <li>第一志望実現のため、教員側にも粘り強い指導を期待する。</li> </ul>
4	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡事を徹底し、所作・身だしなみ等内面を鍛え、社会性を身につけさせる</li> <li>職員の意識改革を進め、生徒に自ら範を示す</li> <li>挨拶は学校の顔、挨拶を励行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡事徹底：時間厳守、服装を正す、整理整頓、授業集中</li> <li>職員相互のコミュニケーションをとり複数の目で指導</li> <li>職員自らが範を示し、生徒、保護者から尊敬信頼を得る</li> <li>挨拶は相手に届くこと、大きな声で相手に届ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ目線で全員で繰り返し指導する</li> <li>課題となっていることを全員で正す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間厳守、清掃、あいさつ、服装等、凡時徹底が浸透しつつあるが、さらに上の段階を目指す必要がある。</li> <li>日々の指導の徹底をしていく必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡事徹底を引き続き実践していく。</li> <li>保護者との信頼関係、連携を構築し生徒のより良い成長への支援を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に落ち着いた印象を受ける。日頃の生活指導の賜でしょう。継続を期待。</li> <li>所作、身だしなみ、笑顔等 他人から見た「スマートさ」を指導に</li> <li>遅刻者の減少は、教員の努力の結果です。凡事徹底は永遠のテーマです。引き続きのご指導を!!女子の服装に関しては、なぜを説明し納得できればさらに良い方向に向かうと思う。</li> </ul>
5	部活動・学校行事等の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>文武両立は学校の校是、厳しい条件の下、部活動の振興を進める</li> <li>生徒の意識を高める学校行事を進める</li> <li>生徒会は新しい取組に挑戦する。地域の活動にも貢献できる取組を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動が人格を陶冶することを広く学校内外に広報する。</li> <li>各種壮行会を実施し、母校愛を育てる</li> <li>父母の会、後援会と連携し、環境美化保全活動を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東大会、インターハイ、国体等への出場を目指す</li> <li>優れた成績をあげた生徒を顕彰する</li> <li>学期毎、西川口駅から本校への通学路クリーン作戦を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大会へ水泳部3名出場</li> <li>インターハイに水泳、陸上が出場、関東大会に水泳、陸上、柔道、カヌーが出場</li> <li>フットサル、化学部が全国大会出場。</li> <li>クリーン作戦2回実施(6/17 2/17実施(10/21雨中止))</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>文武創造の推進に向け、バランスも考慮しながら、部活動の充実を支援していく。</li> <li>地域社会への感謝の気持ちを行動で現わす機会を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽部が中学生と一緒に演奏し、地域とのつながりを大切にしている様子が分かる。これからも地域の中で愛される学校づくりをしていくことは大切かと思えます。</li> <li>部活動させる事により勉強の「イキヌキ」と同時に「チャレンジ」心を指導</li> <li>クリーン作戦、今後も継続して欲しい。</li> </ul>